

# 平成29年度 秋田広域商談会

開催  
内容

県内製造業の受注機会拡大を目的に商談会を開催



## “秋田県内と首都圏等の企業の顔合わせによる商談や情報交換”

11月16日(木)、秋田ビューホテルを会場に「平成29年度 秋田広域商談会」を開催した。この商談会は、秋田県内外の受注企業と東北および首都圏などの発注企業が一堂に会して行われる商談の最前線として、毎年開催している。今年は発注企業85社、受注企業129社が参加し、活発な商談と情報交換を繰り広げた。

### 商談会ルポ

#### ❖ 県内外の企業述べ214社が参加

秋田広域商談会は、非鉄金属、鉄鋼業、板金、製缶、機械加工、電気機器、樹脂、ゴム、機械設計など秋田県内の製造業の受注拡大を図るため、より多くの取引機会の場を提供することを目的に開催。

数えて37回目の今回は、過去最高だった昨年よりも更に発注企業の参加が増え、昨今の受注企業側の売り手市場を物語っている。

商談は、全国から参加した発注企業毎に設けられたブースを、受注企業のスタッフが訪れ面談するスタイル。各ブースでは例年にも増した熱のこもった商談・情報交換が行われ、この機会をフルに活かして複数の発注企業と面談した企業も多く、目先の受注獲得だけでなくとどまらず、将来に向けた情報収集の格好の場としても活用されていた。

当センターでは、商談会後のフォローに努めるとともに、今後も県内ものづくり企業の販路拡大に向けた支援を継続していく。



商談会前から熱気を帯びたロビーでの受付風景



主催者挨拶では、県内の経済動向説明も行われた



東北・首都圏などから参加した発注企業ブースの様子



これから始まる商談を待つ受注企業の皆さん

### 商談会参加者の声

(有)高石機械工業 専務 **高石 哲兵**さん



#### ❖ 将来展望も含め、仕事の可能性を見極めるチャンスにしたいです。

湯沢市で省力化機械部品加工などを行う高石機械工業は昭和53年創業。二代目の高石哲兵さんは、受注活動のほか当センターとの窓口的な業務も担当している。「うちは家族と社員合わせて6名という小さな会社ですが、その分、情報を全員で共有して運営できるのが強みです」と話す。

今回の商談会では、目先の受注だけでなく将来の可能性を広げるための情報収集も目的の一つだとか。商談会で得た発注情報は「早速会社に持ち帰って検討します」と語る。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター 経営支援部 取引振興課 TEL 018-860-5623